

(様式例)

令和4年度 国語科 授業改善推進プラン

大田区立雪谷中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・昨年度は「言語活動の充実」「語彙力の養成」「作文・表現力の育成」を設定した。定期的な漢字テスト・発表・表現の機会を増やすなど、各学年の取り組みの成果があがり、結果も良好である。
- ・全学年で、全体として目標値を上回っている。観点ごとに見ても全学年全観点で目標値を上回っており、教科全体として取り組みの成果がみられ、昨年よりさらに向上がみられる。

(2) 課題

- ・我が国の言語文化に関する事項がどの学年も他の項目に比べ、伸び悩んだため言語事項の定着を図っていく。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和4年度結果	令和3年度結果	令和2年度結果
第1学年	目標値との比較△		
第2学年	前年度との比較-10.1 目標値との比較△	目標値との比較△ (第1学年時)	
第3学年	前年との比較-1.6 目標値との比較△	前年との比較+0.6 目標値との比較△ (第2学年時)	目標値との比較△ (第1学年時)

(2) 分析（観点別）

① 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値、区・全国平均正答率のいずれも上回っている。	目標値、区・全国平均正答率のいずれも上回っている。	目標値、区・全国平均正答率のいずれも上回っている。

② 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値を上回るも区や全国の平均値を下回る。	目標値を上回るも、前年度より数値が下がる。	目標値を上回るも、前年度より大きく数値が下がる。

③ 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値を大きく上回る。	目標値を大きく上回る。	目標値を大きく上回る。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
文法・語句に関する項目が他より低いため、復習を行う。	文章の展開や、表現の効果を考えて読めるよう、復習を行う。	話し合い等の生徒が主体的に取り組める活動を行う。

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
漢字等の基礎的な学習を反復して行い、基礎・基本の徹底を目指す。	話したり書いたりする際に構成をを考えて組み立てるようにしていく。	生徒が主体的に取り組めるよう、話し合い活動などを取り入れる。

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値から+8.2ポイント。引き続き基礎基本の定着を図るために小テストを行う。	目標値から+4.7ポイント。我が国の言語文化の項目が他よりも低かったため、復習を行う。	目標値から+3.7ポイント。